LIP in HIRAKATA

２００６年　１０月号

ＬＩＰ　(Local Information Paper)　とは……

枚方市民発の、福祉・教育・文化・環境・ボランティアなどの情報を掲載する地域密着型情報紙をめざします。

- ［作業所紹介 vol.2］心学塾作業所
- ［お礼］ＬＩＰ１周年記念パーティ
- 「ナヌムの家」絵画・写真展　ハルモニたちと向き合うこと
- 原民樹の吉林留学レポート①　新連載
  中国人と肩を組みながら大声で叫べる「日中友好」を実現したい
- とれぶりんか・子ども劇団　「セミ君の七つの夜の物語」公演♪
  ～生きることの意味をたずねて旅をするセミ君に、あなたならどんな話をされますか？～
- ［連載コラム］かおりのひとりごと　「奪わないで」
- ［ブログ連動連載　言いたい放題！アッキー２８号］　「2006/09/28　下の子の、キーパーソン発見！」
- イベント／サークル／ボランティア情報
- 編集局より／ＬＩＰ配布場所
  ＬＩＰ応援団掲載／会計報告

手作り製品が売れるのは、とてもうれしい♪
（心学塾作業所　２面に紹介記事）

「ＬＩＰ編集局」　http://www.love-dugong.net/lip/

連絡先 ＆ 発行責任者
若林利行（わかばやしとしゆき）
メールアドレス：lip@love-dugong.net
TEL/FAX：072-866-0119
携帯：090-8537-9886

♪作業所紹介♪ vol.2　心学塾作業所

みんなで岡山一泊旅行♪（９月１４日）

心学塾作業所は１９９０年に障害者の作業所として無認可でスタート、２００３年に社会福祉法人心愛を設立。知的障害者小規模通所授産施設として現在に至っています。

作業所は大峰元町にあります。総合体育館の近くです。２０代から５０代までのメンバーさんが、リサイクル作業（アルミ缶・牛乳パック）・畑作業・受託販売・店頭販売（津田公民館・ワカバ山田池店・京阪ストア一藤阪店）を行っています。月に１度の販売を待っていてくださるお客さんもいて、メンバーさんの大きな励みになっています。最近は手作り製品（パイ・布ぞうり）にも力をいれています。パイは公民館内などの「喫茶わお」（くずは・菅原・枚方市駅東口・ラポール）においています。布ぞうりは「喫茶ラテール」「くらわんかギャラリー・塩熊商店」「お好み・ぐるぐる亭」「喫茶丘」「ラポール」で販売。お土産や贈答品としても喜ばれています。自分たちが一から手がけた製品が売れるのはとてもうれしいです。皆さんも是非私たちの作品を手にとってみてください。

今、障害者をめぐる環境は危機にあります。この１０月から施行される「障害者自立支援法」が自立を助けるものではなく、金銭面での負担ばかり押し付けたものになっているからです。私たちの作業所は１２名のメンバーが通所していますが、３年後までには２０名を越さないとつぶされてしまいます。弱く力のない者は本当に生きにくい社会になってきました。障害をもちながらも地域で共に生きていきたいという思いが、特別なことでなく叶えられるように私たちは願い、これからも実践していきます。

（✎ 村瀬美智代）

社会福祉法人　心愛　　心学塾作業所
大峰元町１丁目２１－５　電話 072-859-9194

ＬＩＰ１周年を祝ってパーティ

9月2日に、「ＬＩＰ１周年パーティ」を行いました。毎月予定通りに発行することが１年目の大きな目標でしたが、なんとか達成できました。これまで、協力してくれた方々、パーティに駆けつけてくれた方々、本当にありがとうございました。

１年間の間に多くの人たちの協力が得られました。枚方には実にさまざまな方が多彩な活動を繰り広げられていることがわかり、編集活動も、どんどん楽しくなってきています。

2年目も、これまで以上にたくさんの方たちを紹介し、市民の目線から発信していきたいと考えています。［ＬＩＰ編集局］

「ナヌムの家」絵画・写真展　ハルモニたちと向き合うということ

このたび、枚方市駅構内の「ひらかたふれあいセンター」にて９月１日から６日まで開かれた　“元日本軍慰安婦被害女性の体験と向き合う　「ナヌムの家」絵画・写真展”　には約 360 名の人々が訪れた。新聞やチラシ、知り合いや友人の誘いで会場に足を運んだ人のほか、通りかかりに案内板を見て何気なく立ち寄ってくれた人もいた。

「あの、ナヌムって何ですか?」
「あ、はい。ナヌムとは韓国語で「分かち合い」という意味で、「ナヌムの家」とは生活の苦しい元慰安婦女性たちが一緒に生活している施設のことです」
「ええ、そうですか」
「こちらからどうぞ。こちらが「ナヌムの家」に住んでおられる方々の写真で、あちらのほうは彼女たちがトラウマの治療の一環として描いた絵なんです」

ゆっくりと説明パネルへと向かい、彼女らの肖像写真の前で長く立ちどまる人。彼女(彼)には、年老い病気に苦しみながら今を生きるハルモニ（韓国語のおばあさんという意味、元「日本軍」慰安婦被害女性のことを親しみを込めてハルモニと呼ぶ）の人生を真正面から撮った写真家の思いが伝わったのだろう。展覧会の期間中に何度も会場に足を運び食い入るように絵画やパネルを見つめる彼女(彼)も、新聞などで報道された知識としての「慰安婦」でなく、現在を私たちと共に生きる個々のハルモニに出会うことができたのだろう。

私は韓国・ソウルで生まれ育ち、1992 年国際結婚で日本にやってきた。大阪での生活ももう 15 年目になる。1998 年「ナヌムの家歴史館」の設立当時から友人らと

共に「後援会」の活動に参加しているが、美しい色彩のハルモニの絵画の前に立つと、私は無性に逃げ出したくなる。何回観てもハルモニの苦しみや悲しみ、怒りが切々と伝わり、心苦しく、胸が痛む。しかし未だ逃げ出さずにハルモニたちと向き合っているのは、周囲に「慰安婦」問題の真相を伝え、その解決が必要であるという認識を広めていきたいと素朴に思いからである。

日本で「慰安婦」問題が社会問題化されて 10 数年になるが、相変らず多くの人々はこの問題を知る機会がほとんどない。このたび枚方での「ナヌムの家」絵画・写真展を成功裏に終了することができ、実行委員会の一人として、また地元の住民の一人として大変嬉しく思う。会場に足を運んでくださった人々の思いを大事に、これからも回りの人々と手を繋いで次の活動に取りくんでいきたい。

「ナヌムの家」絵画・写真展　枚方実行委
キム・キョンジャ

■「ナヌムの家」絵画・写真展は、2005 年「ナヌムの家」歴史館後援会の呼びかけにより、京都・豊中・静岡・金沢・松山・佐賀・沖縄・福岡・三重・高松・東京などで開催され大きな反響を呼んだ。今年も枚方のほか大阪・西宮などで開催される予定である。
■絵画展の問い合わせは kyungja@a6.shes.net まで。

原民樹の吉林留学レポート ①

ＬＩＰ６月号で「フィリピンという国　～Akay Youth Japan の活動から～」という記事を書いてくれた原民樹クンが、中国へ１年間留学することになりました。中国からの便りを、今後ＬＩＰに掲載していきます。熱い思いを持って留学した原クンの報告をお楽しみに！

ここは中国東北地方、吉林省の省都長春です。今、大学の留学生寮でこの文章を書いています。なぜ僕がこんなところにいるのか、そんなことをお話したいと思います。

まず吉林省という名前を聞いたことがあるでしょうか？中国を旅行したことがある人でも、この名前を知っている人はそう多くありません。簡単に言えば、吉林省は朝鮮民主主義人民共和国のすぐ北にあります。緯度は北海道と同じくらいで、冬にはー３０℃になることもある非常に寒い地域です。そして、吉林省はかつて日本が植民地支配をした「満州国」の中心地だった場所です。中国侵略の拠点として、旧日本軍が非人道的な支配を１５年にわたって続けた土地なのです。いまだにこの地域の地面には、戦争末期に旧日本軍が捨てていった爆弾や毒ガスが埋まっていて、戦後６０年以上経った今でも、工事のために地面を掘る作業員がその毒ガスに触ってしまい、死亡するという事が起こっています。

街で出会ったおじいさんが、「僕は日本人です」というと、「中日友好を強めよう」と書いてくれた。

なぜ僕が、この日本の侵略戦争の傷跡が深く残っている土地吉林に留学に来たのか。その理由は他でもなく、「対話」のためです。

先に書いたような歴史を背負った土地ですから、当然日本への感情は一般的に良くありません。この９月１８日にも、すぐ近くの都市の瀋陽で小規模な反日デモが起こりました。「歴史を忘れるな！！」という怒りの声があがったのです。

中国人と肩を組みながら大声で叫べる「日中友好」を実現したい

そんな土地だからこそ、僕はここに来ました。ともすれば、日本に「憎しみ」を抱いているかもしれない人々と、自分が何を話せるか。そしてどうやって理解し合えるか。そんなことを挑戦するための留学なのです。

今、「日中友好」は多くの人が望み、叫んでいる言葉です。しかし、今の社会の中で、それは口にするだけでたやすく実現できるものではありません。当の中国人を抜きにして、日本人だけで中国はあーだこーだと議論しても、何も前には進みません。友好は片方の気持ちだけでは実現しません。ならば中国の普通の人々としっかり目を合わせて、気持ちをぶつけ合う中で、関係を変えていくしかないのではないでしょうか。政治家が豪華な机に座りながら唱える、きれいごとの「日中友好」ではなく、中国人と肩を組みながら大声で叫べる「日中友好」を実現したいと思っています。

まだ吉林に来て２週間で、成果は何も出ていませんが、ここに書いたことを胸に、これから一年、必死で中国人にぶつかっていきたいと思います。

長春の繁華街

［原民樹］

『セミ君の七つの夜の物語』公演

生きることの意味をたずねて旅をするセミ君に あなたならどんな話をされますか？

とれぶりんか子ども劇団

９月１８日、南部市民センターイベントホールで、『セミ君の七つの夜の物語』の劇公演が、枚方市の共催を得て実現しました。演じるのは、小３から小５の子どもたちを主体にした「とれぶりんか子ども劇団」。

セミ君をはじめ、ヒヨコさん、千年河童さん、天使さん、ニャンコ隊長など、メルヘン調のキャストですが、内容は現代の病巣を描くもので、重くて痛い話ばかりです。

子どもにとっても大人にとっても、心に残る作品をと、「ガリバー旅行記」のような設定にしました。

１０歳前後の子どもたちには、酷かなぁと思いあぐねていましたが、子どもたちの熱演で救われました。命の重さというテーマが、ひと夏のロングランの練習の中で子どもたち１人ひとりに染みていったのではないかと思うのです。

象徴的なのは、第３夜。小さな天使の登場。「いくら子どもを救おうと思っても、いくら一生懸命やってても、親が子どもを殺したり、子が親を殺したり。。。いったいどうなっているの！」と叫びます。「私は、どじでまぬけで無能な天使なの！でも子どもたちを救ってやりたいの！ねえ、どうしたらいいの？」とセミ君（観客）に詰め寄ります。

あなたなら、どう答えますか？

嘆くのは簡単です。解決に向けたささやかな第一歩をあなたも子どもたちと一緒に踏み出してほしい、というのが私たちの願いなのです。

もう一つが第６夜。精神病棟の最上階にいて月に向かって自分の名を呼び続ける父に、別れを告げに立つ少女。仕事場で厳しい「競争」に駆り立てられ、ついに精神を患って、娘の目の前で近所の人に押さえつけられながら救急車に運ばれていく父。その悲痛さは、メルヘンからはあまりにほど遠い。その落差に驚かれた観客も少なくなかったかも知れません。

しかし、これは実話をもとにしています。ある中学校の修学旅行の夜に、子どもたちが泣きながら語り合った中のひとつの話です。１０歳ばかりの子どもたちがいま背負っている現実なのです。あるがままに受けとめる中から、人間のドラマを私たち「とれぶりんか劇団」は創り出してゆこうと思っています。

満員のお客さん、涙してくれたお客さん、ただただ感謝です。ありがとうございました。

とれぶりんか・子ども劇団代表　バルタンＸ

とれぶりんか・子ども劇団
劇団員募集中♪
連絡先：中川雄二　090-4289-5317

かおりのひとりごと

かおりのひとりごと

野添かおり　枚方市在住。神経難病脊髄小脳変性症により、17 才のころより車椅子生活。大学時代詩人野呂先生に師事。現在主にエッセイを書く。

「奪わないで」

私たちには能力的にできないことが多い。特別な配慮がいることもある。でも、何もできないわけではない。例えば私が若年性神経難病の交流会を沢山の手助けの元立ち上げたこともそうだし、この「かおりのひとりごと」を書いていることからも分かるだろう。自立生活を送っていることもそうだ。できることは多い。なのに、「障害者は何もできない、何も知らない」という風潮が未だ強く、それ故に行動することを奪われている事実をよく耳にする。impairment（不能原因）による disability（能力不能）が handicap（社会的不利）に繋がってはならない。できないことがあることを盾にできることまで奪ってしまってはならない。その権利は誰にもない。奪わないでほしい。私たちの可能性を。手助けがあれば強くはばたけるのだから。

〈追記〉
「とれぶりんか」のブログにも載せたエッセイですが、これが私の基礎になっている考えなので載せてみた。

ブログ連動連載

言いたい放題！アッキー28号

2006/09/28　下の子のキーパーソン、発見！

【アッキー自己紹介】　不惑の年に子育て真っ最中の「兼業主婦」。「要配慮」の男の子二人を育てる母もまた、「片づけられない女」だと自覚しています。おっとりマイペースの夫と四人の家族、ぐっちゃぐちゃでも、ま、いいじゃん。毎日を心楽しく過していきたいと思っています。

「班のことは、班の子ども達に聞いてみたら？」

集団登校班のことずーっと問題を抱えている。夏休みをはさんで、まる四ヶ月あちこち相談したり、先生が来てくれたり、自前やご近所のボランティアで協力してくださる人をお願いしたり。小学校まで歩いて子どもの足で半時間近くかかる我が家のあたりの子ども達の集団登校。自閉症の上の子に母がついて歩いているが、踏み切りや犬にこだわりのある彼は、どうしても班と一緒には歩けない。かなり遅れてしまう。

そうすると、やはり課題が少しある下の子の足の遅さや聞き分けの今ひとつ悪いことが、登校班の中で問題となってしまうのだった。「お母さん、二人の子どもをちゃんと見てください！」苦情が出て、ずーっとその問題に取り組んできた。その結果、だんだん問題の所在が私にも（多分周囲にも）見えてきて、結局、それは、子ども達集団の中で、下の子が一人でやっていけるかということ。最初からそれはそういうことだと、頭ではみんな分かってたんだけど、改めてそれが腑に落ちて感じられてきた気がする。

で、冒頭の言葉。途中毎日道路で立ってくださっている交通監視委員さんからの進言だ。この二週間はずっと上の子を他の方にサポートしてもらい、私は集団登校班と共に歩いて、下の子を見守っていた。だけど、そんな様子を見ていて、「もう、お母さん、下のお子さんのほうは班の子ども達に任せて、大丈夫なんじゃないかなぁ」と監視員さんは言ってくださるのだ。

「でも、やはり不安に思われる保護者の方がおられるのです。それをほっとくことはできないから。どうしたらいいんでしょう？」相談すると、それならば、と彼女が話してくれたのが、冒頭の言葉だった。

そうかー。子ども達に聞いてみるのが一番いいのかぁ。

⇨⇨⇨続きはブログ　http://plaza.rakuten.co.jp/akkieandphoenix/diary/200609280000/　へＧＯ！

イベント・サークル情報

【わくわくキッズコンサート】
お子ちゃまとお母さんたちに楽しんでいただくコンサートです。少々のざわざわはOK！何なら一緒に歌ってちょうだい！踊ってちょうだい！って／リなので、ぜひともご家族で音楽を楽しみに来ていただけたらと思います。
■日時：2006年11月19日（日曜日）
　　13:30開演（13:00開場）
■場所：南部市民センター　イベントホール
■枚方こども芸術文化育成支援助成事業
■主催：枚方演奏家クラブ　■共催：枚方市
■入場料：おとな￥８００
　こども￥５００(二歳～小学生)※二歳未満は無料
　おとな１名＆こども１名【ペアチケット】￥１０００
■連絡先：miecchi513@hotmail.com
　大迫０７２－８５１－６９６９

【参加者募集】＜パパの集い　IN　ファミリーポートひらかた＞　パパと一緒に遊ぼう
内容―パパは育児力UP？ママはリフレシッュ。
　パパと子どもが対象の特別企画です。
　ポートのゆったりした自然の中、パパとお子さんとで体操やふれあい遊びを楽しみませんか？
　経験豊かなスタッフがパパをサポートするので、ママも安心！昼食―ポート特製豚汁を用意します。おにぎりのみご持参ください。
日時：10月21日〔土〕10時30分～13時
場所：ファミリポートひらかた（枚方市招提南町2-50-1）
参加費：無料・要予約
☆申し込み・問い合わせ
子ども家庭支援センター　ファミリーポートひらかた
☎ 072-850-4400　http://suijo.com/hirakata/

知的障がい生徒が府立高校へ入学できる「特別枠」があることをご存じですか！？
知的障害のある生徒の高校進学について一緒に考えませんか？
2006年１０月２４日（火）１０時～１１時３０分
交野ゆうゆうセンター２Ｆ集団指導室
　関心を持たれた方なら、どなたでも参加ＯＫです。お気軽にお越しください。　※連絡先：090-4908-3110（大町）

【知的障害者を普通高校へ　北河内連絡会定例会】
　知的障害のある生徒の高校進学について一緒に考えませんか？
　保護者・当事者は勿論、先生方の参加もお待ちしております。
２００６年１０月２０日（金）１８時３０分～２１時
寝屋川市民会館
※連絡先：090-4908-3110（大町）

【とれぶりんか音楽部　サタデーナイトコンサート】

日時：１０月７日（土）１９時から２０時半（１８時半開場）
場所：ラポール枚方４階大研修室
参加費：大人５００円、学生３００円、子ども１００円
出演：とれぶりんか音楽部のリーダー、西谷優☆

優の歌声に癒されること間違いなし！？お誘いあわせの上、ぜひぜひお越しください♪
サタデーナイトコンサートは、毎月第１土曜の夜、開催しています。１１月４日は、Crescendo Time Loverが登場！
連絡先：090-4289-5317（中川）

ボランティア情報

北河内ボランティアセンター提供
http://www.kit.hi-ho.ne.jp/npo-kvc/

■１０月２１日（土）午前９時～午後４時
　門真市内にある知的障害者施設の利用者と一緒に運動会の競技に参加して下さる方を。
内容：利用者とふれ合いを楽しみ運動会を楽しむ。利用者とペアになって競技に参加する
会場：門真小学校（京阪門真市駅より徒歩５分）　交通費：自己負担
食事：持参　持ち物：タオル、各自必要なもの　雨天：決行
締切：１０/１６（月）

■１０月２９日（日）午前９時～午後４時
　枚方市内にある知的障害者施設のお祭りで利用者とお祭りに参加したり、模擬店等のお手伝いをして下さる方を。
交通費：自己負担　食事：支給　雨天：決行
締切：１０/２０（金）

■１１月３日（金）午前９時～午後５時
　枚方市内にある知的障害者施設のお祭りで利用者の援助、模擬店等のお手伝いをして下さる方を。
会場：枚方市内の知的障害者施設　交通費：食事代と合わせて千円支給
食事：支給　持ち物：上履き　雨天：決行
締切：１０/２５（水）

電車好きな子にはたまらない
秋のイベント

この日だけしか見ることのできない京阪電車の車輌庫内部を思う存分楽しめます。

■ファミリーレールフェア
１１月１９日（日）
１０：００～１５：３０（入場１５：００まで）
（場所：寝屋川車両基地）

■大津線感謝祭
１０月２９日（日）
１０：００～１５：００（入場１４：３０まで）
（場所：大津線錦織車庫）

❀ 今号から中国へ留学した原くんからの便りの連載を開始しました。不定期連載になると思いますが、乞うご期待♪

❀ ＬＩＰは枚方市内を中心に、御協力店など６０カ所程度に、毎号１０００部を設置・配布しています。市民からの発信のツールとして、ぜひご活用ください。みなさんからのご意見・ご感想・投稿をお待ちしています♪

［ＬＩＰ編集局］

応援ありがとうございます！！

ＬＩＰ応援団

コミュニティカフェ　ラ　テール 様

shot bar カボチャソース 様

ＬＩＰは、次の場所に置かせていただいてます。

枚方市

☆　各公民館・図書館・南部市民センター・メセナひらかた・ひらかたＮＰＯセンター
☆　枚方市ボランティアセンター　［ラポールひらかた内　072-841-0181］
☆　北河内ボランティアセンター　［磯島茶屋町 20-1-101　072-848-4166］
☆　子ども家庭支援センター　ファミリーポートひらかた［招提南町 2-50-1　072-850-4400］
☆　コミュニティーカフェ　ラ　テール［西禁野 1-3-27　禁野口バス停前　072-848-0418］
☆　ＮＰＯ法人　りりあん［長尾元町 6-39-15　lilian@kcat.zaq.ne.jp］
☆　婦人洋品店　シャルム［南楠葉１丁目 2-16　くずは公民館向かい　072-850-1362］
☆　喫茶･軽食　壱番館　［藤阪西町 3-5　072-855-0186］
☆　喫茶　Ｄｉｋ　Ｄｉｋ［岡本町　北村味噌向かい］
☆　たこやき・おこのみ　けんちゃん［大峰南町７－１スーパーワカバ内　072-859-4155］
☆　パン工房　むぎ麦玄米　［藤阪西町 2-13　072-850-4992］
☆　街かどデイハウス　藤阪愛逢　［藤阪元町 2-27-1　072-855-6978］
☆　わらしべ会障害者生活支援センター　［南楠葉 1-8-12-103　072-868-1308］
☆　泉屋　楠葉店　［楠葉並木 2-2-2　072-868-3060］
☆　第２明日花作業所　［西禁野 1-3-19　072-847-6070］
☆　居酒屋　以呂波　［宮之阪３丁目 12-1］
☆　身体障害者共同作業所　キッズ枚方コミュニケーションズ　［堤町 2-1-103　072-861-6360］
☆　疋田税理士事務所　［西禁野 2-4-17 第５松葉ビル 301　072-805-5252］
☆　ヘアーサロンかわむら　［長尾東町 3-1-4　072-859-1601（予約優先）］
☆　洋裁付属品と手芸小物の店　みなよし　［香里ヶ丘３丁目Ｂ６５　072-854-0756］
☆　喫茶＆アンティークショップ　Squirrel（スクワーラル）　［宗谷 1-1-1　072-859-2475］
☆　割烹　千鳥　［岡東町 12-13　ひらかたさんぷらざＢ１Ｆ　072-843-8114］
☆　学校法人　東洋学園　近畿情報高等専修学校　［渚西１丁目 43-1　072-840-5800］
☆　ＷＡＶＥ３４（ボーリング場）　［田口４－１１－８　072-848-0450］
☆　ヘアースタジオぱぺぽ　［南楠葉２丁目 4-3　072-850-9070］
☆　枚方市地域包括支援センター社会福祉協議会　［南楠葉 1-18-3 田中ハイツ１階　072-856-9177］
☆　枚方市役所（市民活動課・環境総務課）　［大垣内町２丁目１番２０号　072-841-1221］
☆　(財)枚方市文化国際財団　［岡東町 8-33 市民会館内　072-843-1122］
☆　食育ステーションまきの　［牧野本町２丁目１９－２　072-397-2111］
☆　社会福祉法人　心愛　　心学塾作業所　［大峰元町１丁目２１－５　072-859-9194］
☆　紅茶専門店ＶＩＥ　［南楠葉１－１－３４　072-856-2355］
☆　shot bar カボチャソース　［牧野下島町１４－２２　072-809-7676］

寝屋川市

☆　寝屋川市立市民活動センター
☆　フレッシュベーカリー　ラッキー　［寝屋川市早子町１８－１　072-821-0413］
☆　和菓子の店　香里園ちとせ　［寝屋川市香里本通町 10-13　072-831-0832］
☆　寝屋川市立ふれあいプラザ香里　［寝屋川市香里南之町 19-17 フレスト香里園店 1F　072-835-3335］

交野市

☆　ヘアーサロンおおまち　［交野市私部 3-17-2　072-891-5024（予約優先）］
☆　たこやき屋　中角　［交野市倉治３丁目 52-1　072-891-4022］
☆　レストラン　ジュリア　［交野市私部３丁目 11-3-2　072-891-2288］
☆　ＮＰＯ法人　ゆいむ（結夢）　［交野市私部７丁目 12-58　072-810-7880］
☆　作業所クローバー　［交野市郡津５丁目 9-3　072-894-4822］
☆　えんでら村作業所　［交野市天野が原町２丁目 14-20　072-893-4890］
☆　小規模通所授産所施設　ミルキーウェイ　［交野市天野ヶ原町２丁目 14-20］

そのほか

☆　高槻シネマルート１７０　［高槻市春日町 15-16　072-673-1709］
☆　龍谷大学　深草学舎ボランティア・ＮＰＯ活動センター
　　［京都市伏見区塚本町深草 67　075-645-2047］
☆　むく福祉会　ワークホーム　れっつ
　　［綴喜郡宇治田原町贄田船戸 38-1　0774-88-5846］
☆　宇治田原社会福祉事務所　［綴喜郡宇治田原町荒木天皇 2　0774-88-2394］
☆　特定非営利活動法人 NGO モニティ
　　［彦根市京町３町目５－４１　http://ameblo.jp/monite/］

ＬＩＰ会計報告（前号以降）

金額(円)	内容
59961	前号から繰り越し
4000	応援団２口
▲2000	９月号用紙代
▲1358	９月号印刷代
▲1290	９月号郵送代
▲4175	パーティ部屋代補填
55138	合計

置かせていただける場所を募集しています。

【広告】パン工房　むぎ麦玄米

国産小麦の焼き立てパンを自宅、お店、催し会場でまでお届けします。できる限り無添加のパンを、作っています。パン教室もします。

URL　http://www15.ocn.ne.jp/~mugimugi/

TEL/FAX　072-850-4992

定休日：日曜日・祝日（注文は受付）